

委員会から報告します

各常任委員会では付託された議案について、市当局と議員の間で次の質疑が交わされました。
(なお、本文は各常任委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております)

問 たんぽぽ作業所運営委託事業の内容と金額について聞きたい。

答 老朽化している作業所の修繕料で、天井などの張り替え、玄関ポーチの天井塗装、エアコン5台分の入れ替えで788万4千円。自立支援法施行の激変緩和措置としての補助金が300万円です。

問 地域介護・福祉空間整備等交付金の事業内容は。

答 地域における公的介護施設等の計画的な整備等に関する法律に基づき行う事業で、ひとみ園入園者の高齢化に伴いエレベーターの設置と避難コース工事を行います。

問 川本北小学校の施設大規模改修事業の内容と時期について聞きたい。

答 内容は外壁の改修、防水工事、トイレの改修及び耐震補強です。工事は夏休みを利用いたします。

問 特別支援教育事業で、特別支援補助員が18年度は小学校10人、中学校4人であるが、増員する予定は。また、LD等の生徒は約6

ことになるわけだが、勤務成績を判断する中に有給休暇の取得は含まれるのか。平成17年、18年の人事院勧告の主要内容は。

答 有給休暇の取得は、勤務成績には入りません。また、人事院勧告の主な内容としては、17年では給料月額の引き下げや1号の給与の号給を4分割にするなど給与構造の改革が、18年では給与水準の改定は見送られ、3人目以降の子等の扶養手当を月額1千円引き上げるというものです。

問 市税について、平成18年度に比べ19年度は相当な歳入増になっているが、その根拠を聞きたい。

答 個人市民税は、均等割で老年者非課税廃止の経過措置分の増を、所得割では税率が6%に改正されたことによる増を見込み、前年比126・2%となつております。

固定資産税は、新增築家屋117棟を見込んだことや景気の上方傾向による償却資産の増を見込み、

A black and white photograph showing a classroom or workshop setting. Several people are gathered around tables, possibly engaged in a practical activity or discussion related to the topics discussed in the interview.

問 19年度予算に消防関係の車輌
購入費が計上されていないが、排
ガス規制等による入れ替えは一巡
したのか。また、排ガス規制の関
係で消防車輌は特殊車輌というこ
とで、猶予期間があるのか。

答 合併補助金が急きよ付くこと
になり、3月補正予算に計上し、
これを19年度に繰越し、19年度で
購入していくものです。また、排
ガス規制で消防車輌は特例が設け
られており、一般車輌は10年、消
防車輌は15年、はしご車や科学車
は20年とな
ります。こ
れに基づき
まして車輌
の更新を進
めていると
ころです。



問 屋外広告物などは社会通念上どの程度の範囲まで許されるのか。申請をしていない物についての指導と罰則について聞きたい。

答 例えば自家用自動車で自己にかかるわる広告を側面や後ろに掲出する場合は、一定規模以内であれば許可になります。

県が定めている許可基準により審査を行い、特に目に余る物があれば随時指導していきます。

また、罰則規定は、埼玉県条例により罰金、懲役刑が設けられております。

問 柳原排水機場維持管理負担金について聞きたい。

答 県が進めていた備前渠川の改修により民地の水がはけなくなってしまうため、県で小さな排水機場を設置しましたが、今後は市で管理することで約15年間分の維持管理費を県が負担するものです。

問 水洗化促進のための融資制度について聞きたい。

答 水洗化促進のための融資は、

問 利用者の方にどのようにPRしていくのか。

答 市の広報紙や各公民館等々の場所でPRを行っていきます。

問 土砂等のたい積の規制に関する条例について、高さと勾配はどうのくらいまでよいのか。また、500m以下は野放しなのか。

答 県の条例では高さ2m以下、勾配は水平2に対して高さが1と規定をしています。500m以下については、検討していきます。

問 処化槽市町村整備推進事業施設条例等の廃止に関し、既に設置されている処化槽の所有と管理はどうなるのか。

答 市の財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例に基づき進めています。

問 サングリーンパーク条例の改正に関し、休日の表示とお知らせ方法は。

答 事務所等に表示を行い、市の広報紙等を使いお知らせします。

問 総給水量の減と収支へ及ぼす影響について聞きたい。

答 平成16年度と平成17年度の有収水量の決算数値の前年伸び率及び平成17年度と平成18年度有収水量の見込みの前年伸び率を勘案して算定しています。收支への影響は、給水収益は対前年比3・4%減の9100万円ほどの減を見込んでいます。この要因は、生活環境が節水型の生活に変化したことや工場等でも循環型の機械設備を使用していることが大きな原因と考えられます。



問 業者は何社なのか。

答 旧深谷で3社、岡部で2社、川本2社、花園1社です。

問 今後堆肥センターをどうしていくのか。

答 もう少しで委員会の結論が出る予定で、その結果を基に検討していきます。

問 砂ぼこり対策事業について、本腰を入れて取り組んだらどうか。

答 19年度に対策協議会を設立し、事業を立案してまいります。

問 資源リサイクル事業について回収する団体数は。

答 現在200団体登録されています。



委福社文教員會

委員長
松本 政義
審査案件
議案第12・20・
28号

建設委員会

委員長
下田 仁
審査案件
議案第1・4・
15・18・19・20・
21・22・23・24・
26・27・28・31・
32・33・34・35・
36・37・38号

総務委員会

委員長
松本 光政
審査案件
議案第2・3・
4・5・6・7・
8・16・17・20・
28・29号

市民環境産業委員会

委員長
富田 勝
審査案件
議案第4・9・
10・11・13・14・
20・25・28・29・
30号